

学校法人 東海大学

第44回 海外研修航海



研修期間：2013年2月16日～3月28日（41日間）
寄港地：パラオ、パプアニューギニア、ニューカレドニア、
ミクロネシア（コロール、ラバウル、ヌメア、コスラエ寄港）

研修学生募集!

募集要項

- ◆募集期間：2012年9月21日（金）～10月12日（金） 各校舎にて説明会を実施予定
- ◆参加資格：東海大学・東海大学短期大学部、東海大学医療技術短期大学、東海大学福岡短期大学の学生
- ◆募集人数：98名（留学生を含む）
- ◆参加費用：458,000円（燃油サーチャージ込）
（留学生についてはお問い合わせください）
- ◆奨学金：文部科学省による日本学生支援機構・留学生交流支援制度（SV）奨学金（一人あたり16万円）が、研修学生全員に給付されます。*条件等、詳細は下記問合せ先へ
- ◆使用船舶：東海大学海洋調査研修船「望星丸」（2,174トン）
- ◆研修航海ホームページ：第44回：<http://ship.pr.tokai.ac.jp/44/>（8月下旬開設予定）
facebook：<https://www.facebook.com/osec.tokai>
第43回：<http://ship.pr.tokai.ac.jp/43/>
- ◆問合せ先：所属校舎教学課、事務室、学生支援課、海外研修航海事務局

主催：学校法人東海大学

事務局：学校法人東海大学 国際戦略本部 TEL 03-3467-2211（内 3353）osec@tsc.u-tokai.ac.jp

「船で旅立つ意義」—海外研修航海へのいざない—

学校法人東海大学では、1968年以来、本学所有の海洋調査研修船「望星丸」を使用した海外研修航海を毎年実施してきました。飛行機による海外旅行が普通の時代である今、なぜ船で旅立つというのでしょうか。

現代の文明社会に生きる我々は、コンピューターやインターネットなどの高速通信に代表される高度な科学技術に支えられ、当然のようにその恩恵を受け、日々の生活を送っています。このような社会に生きる我々は、その利便性ゆえ、生身の人間やかけがえのない自然と触れ合う機会が減少しつつあります。これからの社会を担う諸君にとって、今こそ異なる生活・文化を体験することで、「人間として大切なもの」を再確認し、「環境と人間の関係」をもう一度見つめ直し、「自然との共生」を考えていく機会が必要なのではないでしょうか。

参加者の多くは必ず、「陸では味わえない感動や発見があった」と感想を述べています。「教師や仲間と寝食を共にし、時に人生を語り、訪れる島々の異文化や自然に触れる」、そういった船旅ならではの体験の中に、感動や発見を見出すのです。

今年44回を迎える海外研修航海は、本学の特色ある教育活動として、第1回航海から毎年、参加した多くの学生達に「一生の思い出」を与え続けて参りました。これまでに参加した学生は延べ3236人に上ります。今後も「国際的視野に立った世界観・人生観の確立を目指す」「共同生活を通し、人間形成をはかる」という研修目的を達成すべく、諸君と共にこの海外研修航海の新たな歴史を創り上げていきたいと思っております。

大いなる可能性を秘めた未知なる海。今、我々はその海に向けて船出しようとしています。それを価値あるものとするのは、諸君自身の決断と行動にかかっています。未知なる可能性に挑み、諸君の人生にとって必ずや意義深い貴重な経験となるであろう第44回海外研修航海への積極的な参加を期待します。



学校法人東海大学
総長
海外研修航海企画委員会
委員長
松前 達郎

■ 研修目的

この航海は、本学の海洋調査研修船を使用し、海外の諸文化・諸事情に触れ、実体験を通して、国際的視野に立った世界観・人生観の確立を目指す。また、船内という限られた生活環境の中での共同生活を通して、人間形成をはかることを目的とする。

■ 研修内容

洋上キャンパスでは、学園傘下の高等教育機関から参加した学生が団役員とともに共同生活を営み、英会話講座や洋上講座、寄港地に関する調査・発表、天文クラブ・音楽クラブ等学生主体のクラブ活動や、救命救急訓練を行う。また、赤道祭や洋上卒業式などの様々な行事を団役員とともに創り上げる。寄港地では、大学訪問、グループ別計画研修、寄港地の人々を招く船上交流会を行う。

■ 募集要項

実施期間：2013年2月16日（土）～3月28日（木）41日間

コース：日本（清水）→パラオ共和国（コロール）→パプアニューギニア独立国（ラバウル）→フランス領ニューカレドニア（ヌメア）→ミクロネシア連邦（コスラエ）→日本（清水）

参加費用：458,000円（燃油サーチャージ込）※1 日本国内における交通費、自由研修中の費用、パスポート及び査証申請費用は含まれない。 ※2 留学生についての詳細は、事務局にお問合せください。

参加申込：本申込書（海外研修航海ホームページよりダウンロードも可）に必要事項を記入、捺印のうえ、2012年9月21日（金）～10月12日（金）までの間に、所属校舎の学生支援課・教学課・事務室へ提出すること。

■ 参加申込後の日程等（予定）

選考：研修学生は、参加申込者の中から面接等により選考する。

選考日：10月下旬の予定。面接場所・日程等は所属校舎の学生支援課・教学課・事務室が指示する。

選考基準：研修学生の選考は、面接により本研修への志望動機をはじめとする応募者の意識を確認するとともに、日頃の学業成績・出席状況・提出書類を判断材料とする。さらに、船という特殊な環境で長期間過ごすことを考慮し、参加者の生命を守り航海の安全を確保する観点から、健康調査（GHQ、MAS）を行い、また健康診断問診表、健康診断書の結果を加味し、総合的に選考を行う。

発表日：2012年11月22日（木）各校舎で参加許可者を掲示する。

参加手続：2012年11月22日（木）～12月7日（金）

必要書類を所属校舎学生支援課・教学課・事務室へ提出し、参加費用458,000円を、手続期間内に納入すること。

納入後、自己都合により参加を取り消す場合は、原則として以下の基準により返金を行う。※但し、振込手数料は本人負担。

◇ 参加手続期間内（参加許可発表日当日～参加費納入・必要書類提出締切日当日）…全額返金（実費は除く）

◇ 参加手続期間終了日翌日～事前研修開始日7日前…参加費用の90%返金

◇ 事前研修開始日6日前～事前研修開始日前日…参加費用の70%返金

◇ 事前研修開始日～事前研修期間内…参加費用の50%返金

◇ 事前研修終了日翌日～出港当日…返金なし

渡航手続：パスポート及び査証等の手続きは、旅行代理店（イーエスツアー）より連絡があるので、その案内に従って行うこと。

事前研修：2012年12月25日（火）～27日（木）、東海大学三保研修館（静岡市清水区三保）にて行う（開催地までの交通費は自己負担）。なお、事前研修に不参加の場合は、原則として研修航海への参加資格を取り消すものとする。また、研修に対する姿勢が不適切と認められる場合も参加を取り消すことがある。

旅行保険：主催者により以下の保険が参加者に対して加入されるが、各自で別途、任意の海外旅行傷害保険に加入することは差し支えない。傷害死亡・傷害後遺障害…5,000万円 傷害治療費用…300万円 疾病治療費用…300万円 疾病死亡…1,000万円 賠償責任…10,000万円 救援者費用…300万円 携行品…10万円 ※補償項目、金額は予定

その他：◇ 参加申込後の日程等、詳細に関しては随時通知する。

◇ 天候等の事情により研修日程やプログラムなどが変更になる場合がある。特に卒業対象者はその旨理解したうえで申し込むこと。

◇ 病気その他いかなる理由にせよ、大学が計画した交通機関以外で帰国した場合の費用は、自己負担とする。

◇ 留学生は研修地の入国ビザが入手できない場合、また在留期限までに再入国できない者は参加資格を取り消すことがある。

■ 単位の認定

次の成績評価基準を満たすことにより、自由選択科目として「海外研修航海実習」4単位が付与される（複数回参加した場合でも単位の付与は1回とする）。①事前研修への参加および課題の提出 ②洋上研修全日程への参加 ③洋上研修終了後のレポート提出および修了証の授受
なお、東海大学以外の機関の詳細につきましては、事務局までお問合せください。

■ 団役員の構成

団長1名、副団長1名、団役員（医師）2名、団役員（看護師）1名、団役員 9名 計14名

■ 主催・事務局

学校法人東海大学国際戦略本部 〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4 Tel. 03-3467-2211（内線3353）

第44回海外研修航海 参加申込書

私は、第44回海外研修航海に参加を希望いたしますので、保証人（保護者）連署の上、以下の通り申込みます。

2012年 月 日 申込

本人記入欄	ふりがな 氏名				性別	男・女
	ローマ字				国籍	
	大学名		※ 留学生 記入欄	在留資格	在留期間	から まで
	校舎		学部		学科	
	セメスター ・学年	セメスター 学年	学生証 番号		喫煙の 有無	有・無
連絡先	〒					
	TEL(自宅)	TEL(携帯)				
	E-MAIL(PC)	E-MAIL(携帯)				
保証人記入欄	ふりがな 氏名				本人との 関係	
	連絡先	〒				
	TEL(自宅)	TEL(携帯)				
	E-MAIL(PC)	E-MAIL(携帯)				

※ 本申込により大学が収集する個人情報は、本研修に伴う業務にのみ使用し、これ以外での目的では一切利用されることはありません。

※ 氏名のローマ字はパスポートに表記されているとおりに記入してください。